

「国民のアイヌに対する理解度に関する世論調査」の概要

平成 28 年 2 月
内閣府政府広報室

- 調査対象 全国20歳以上の日本国籍を有する者 3,000人
有効回収数 1,727人（回収率 57.6%）
- 調査時期 平成28年1月14日～1月24日（調査員による個別面接聴取）
- 調査目的 国民のアイヌに対する理解度に関する意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目 アイヌの人々やアイヌ文化と接した機会の有無
アイヌの人々に対する差別や偏見について
国民理解の促進について
- 調査実績 「アイヌ政策に関する世論調査」（平成25年10月調査）

（平成 18 年度の調査から，調査対象者に調査主体が「内閣府」であることを提示した上で実施。）

※ 本資料では，過去の調査結果との比較において，統計学的に有意差（信頼度95%）が認められる回答については，「(増)」または「(減)」と記載している。

<お願い>

本資料の内容を引用された場合，その掲載部分の写しを
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1
電話 03(3581)0070
FAX 03(3580)1186

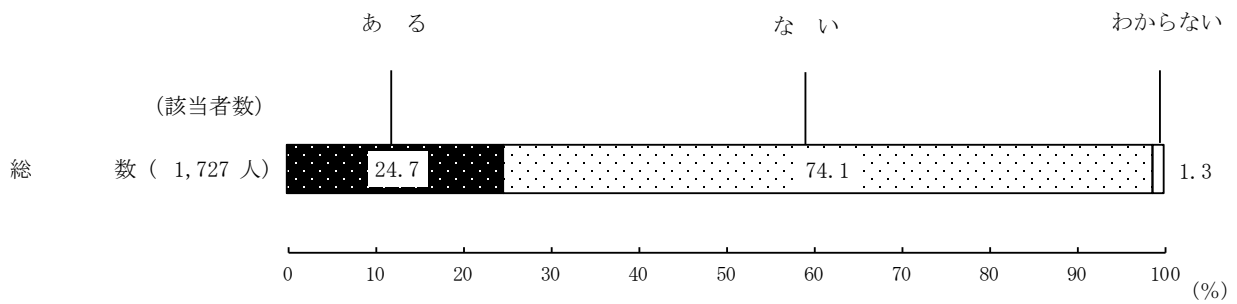
1 アイヌの人々やアイヌ文化と接した機会の有無

(1) アイヌの人々やアイヌ文化と接した機会の有無

問1 あなたは、アイヌの人々やアイヌ文化に接したことはありますか、それともありませんか。

平成 28 年 1 月

- ・ある 24.7%
- ・ない 74.1%



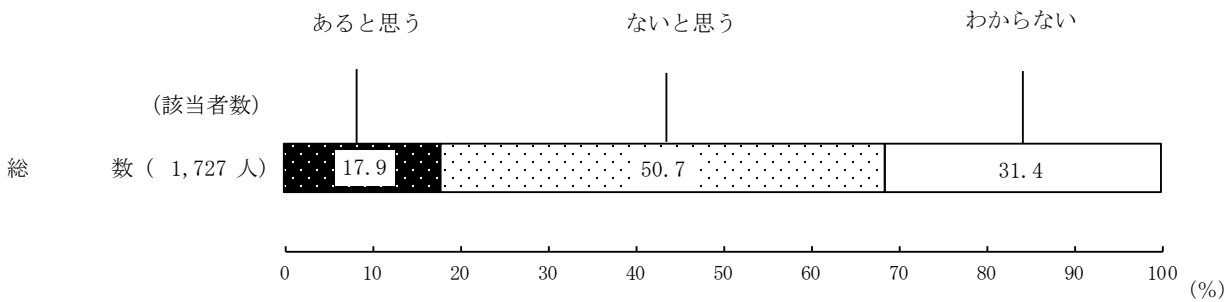
2 アイヌの人々に対する差別や偏見について

(1) アイヌの人々に対する差別や偏見の有無

問2 あなたは、アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見があると思いますか、それともないと思いますか。

平成 28 年 1 月

- ・あると思う 17.9%
- ・ないと思う 50.7%
- ・わからない 31.4%



〔参考〕 アイヌへの差別や偏見の有無

	該 当 者 数	平等であると思う (小計)			平等ではないと思う (小計)			わ か ら な い
		平 等 で あ る と 思 う	平 等 で あ る と 思 う	ど ち ら か と い う と 平 等 で あ る と 思 う	平 等 で は な い と 思 う	ど ち ら か と い う と 平 等 で は な い と 思 う	平 等 で は な い と 思 う	
平成 25 年 10 月 調査	人 1,745	% 50.4	% 25.3	% 25.1	% 33.5	% 24.3	% 9.2	% 16.1

(注) 「あなたは、アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見がなく平等であると思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(ア) 差別や偏見があると思う理由

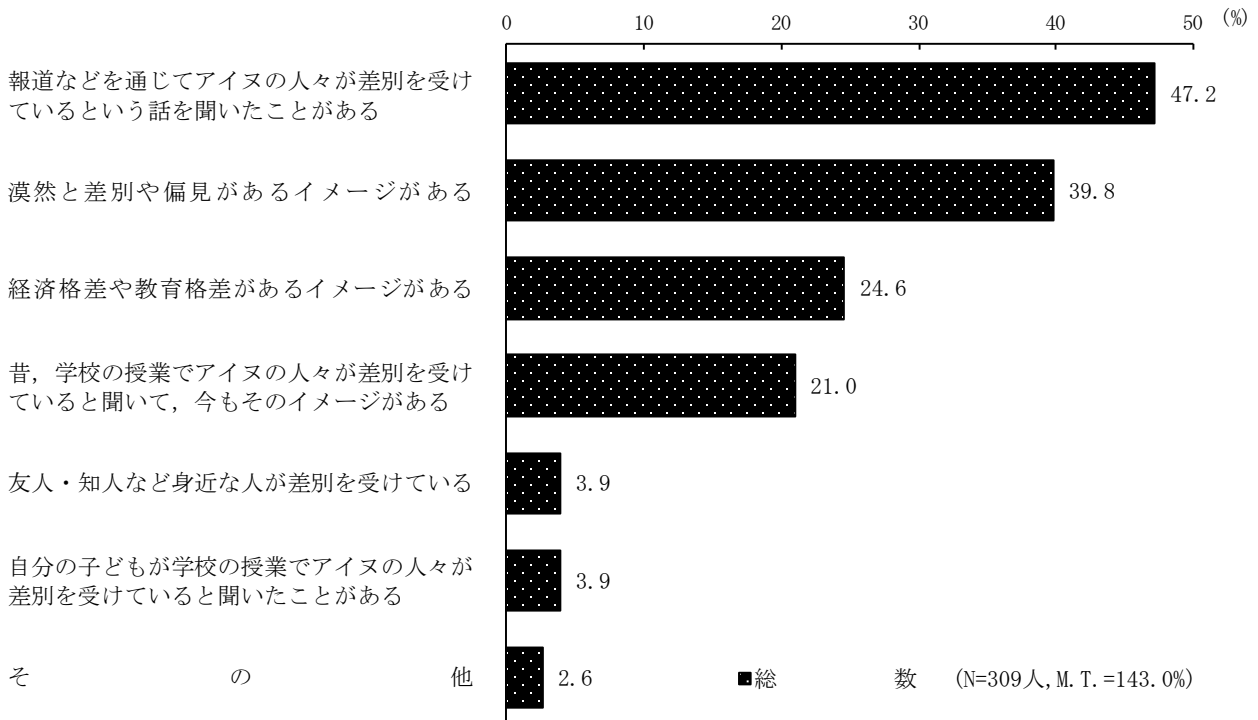
更問1 (問2で「あると思う」と答えた者(309人)に)
あなたは、なぜ差別や偏見があると回答しましたか。
この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位4項目)

平成28年1月

- ・報道などを通じてアイヌの人々が差別を受けているという話を聞いたことがある 47.2%
- ・漠然と差別や偏見があるイメージがある 39.8%
- ・経済格差や教育格差があるイメージがある 24.6%
- ・昔, 学校の授業でアイヌの人々が差別を受けていると聞いて, 今もそのイメージがある 21.0%

〔アイヌの人々に対して, 現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に, 複数回答〕



(イ) 友人・知人など身近な人が受けた差別

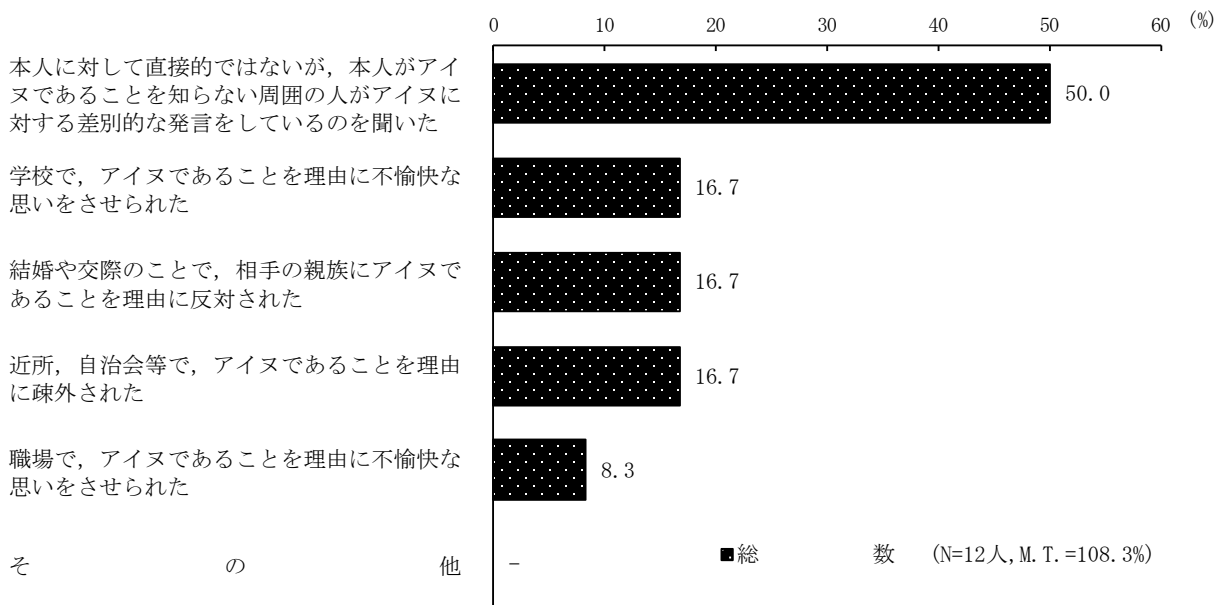
更更問（問2更問1で「友人・知人など身近な人が差別を受けている」と答えた者（12人）に）
友人・知人など身近な人が受けたのは、どのような場面における、どのような差別
でしたか。この中からいくつでもあげてください。

（複数回答，上位4項目）

平成 28 年 1 月

- ・ 本人に対して直接的ではないが、本人がアイヌであることを知らない
周囲の人がアイヌに対する差別的な発言をしているのを聞いた 50.0%
- ・ 学校で、アイヌであることを理由に不愉快な思いをさせられた 16.7%
- ・ 結婚や交際のことで、相手の親族にアイヌであることを理由に反対された 16.7%
- ・ 近所、自治会等で、アイヌであることを理由に疎外された 16.7%

アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見があると思うと答えた者で、差別や偏見があると回答した理由に「友人・知人など身近な人が差別を受けている」と答えた者に、複数回答



(ウ) 差別や偏見の原因・背景

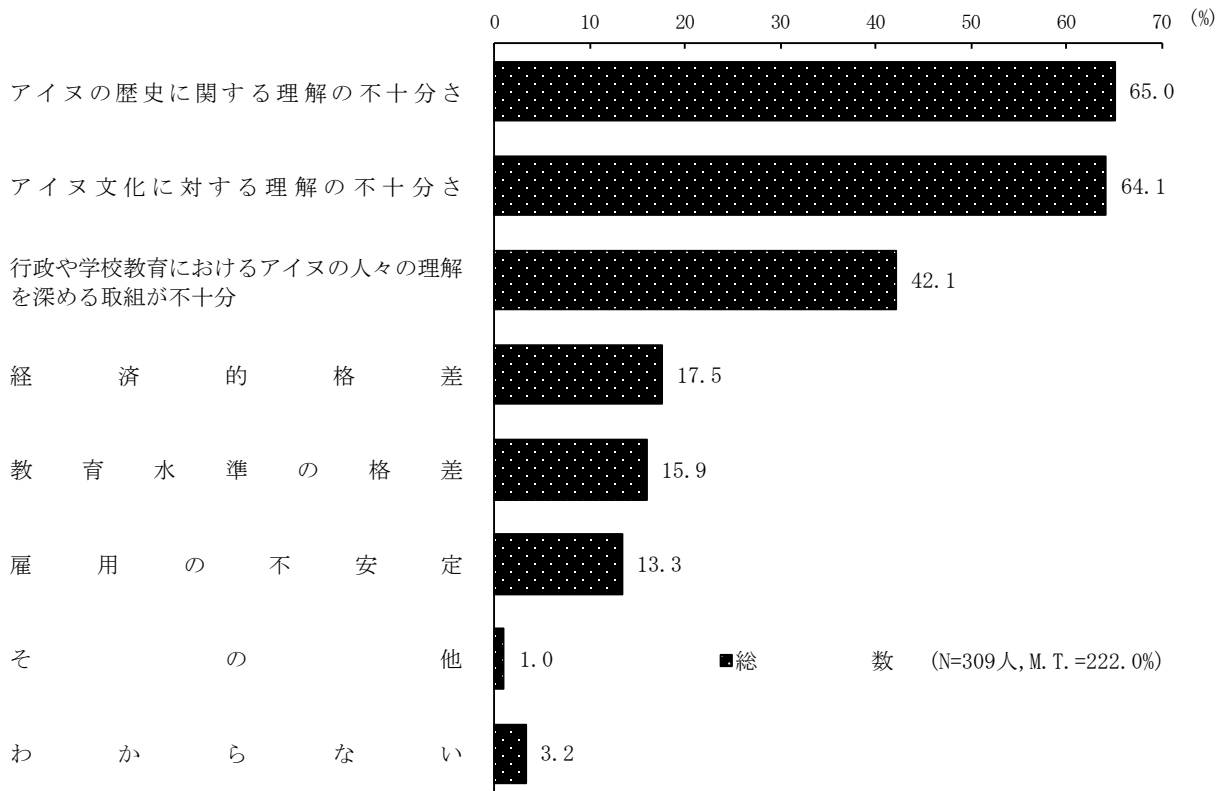
更問2 (問2で「あると思う」と答えた者(309人)に)
差別や偏見の原因・背景は何だと思えますか。この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位3項目)

平成28年1月

- ・アイヌの歴史に関する理解の不十分さ 65.0%
- ・アイヌ文化に対する理解の不十分さ 64.1%
- ・行政や学校教育におけるアイヌの人々の理解を深める取組が不十分 42.1%

〔アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答〕



(エ) 差別や偏見を無くすために必要なこと

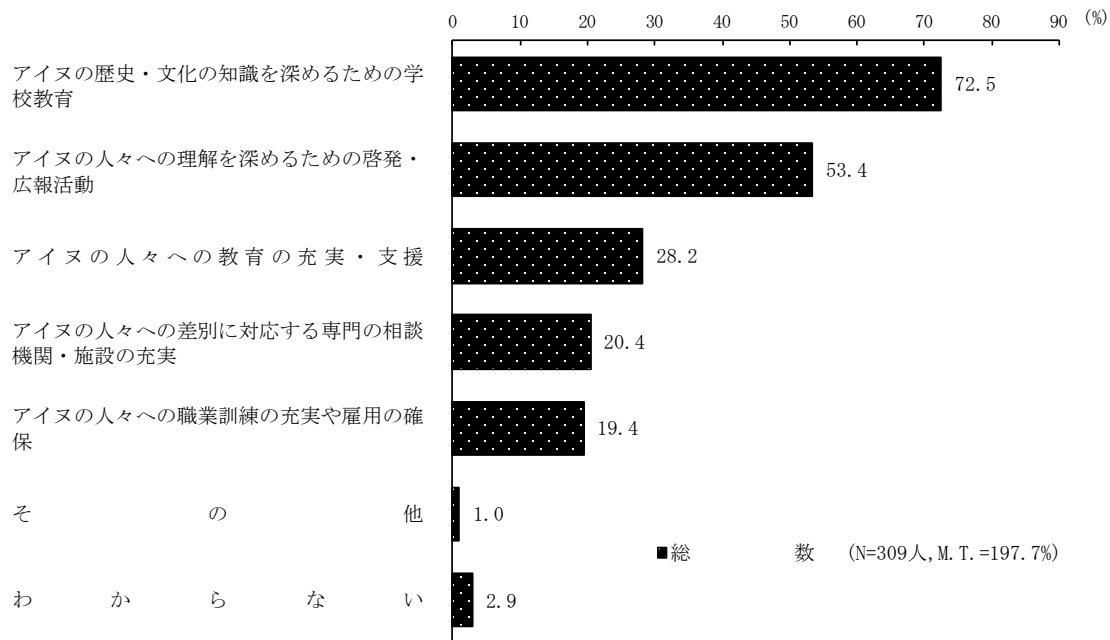
更問3 (問2で「あると思う」と答えた方(309人)に)
差別や偏見を無くすために必要なことは何だと思いませんか。
この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位3項目)

平成28年1月

- ・アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育 72.5%
- ・アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動 53.4%
- ・アイヌの人々への教育の充実・支援 28.2%

〔アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見
が「あると思う」と答えた者に、複数回答〕



〔参考〕重要だと思うアイヌ関連施策

(複数回答)

	該当者数	アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育	アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動	アイヌ文化継承のための人材育成	アイヌ文化の更なる振興	アイヌの人々への教育の充実・支援	雇用確保などの生活支援	その他	特になし	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年10月調査	1,745	51.3	43.4	31.1	27.1	25.4	21.5	1.1	7.2	9.3	217.5

(注) 「あなたは、アイヌの人々に関する施策のうち、どのような取組を重点的に行うべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(オ) 差別や偏見がないと思う理由

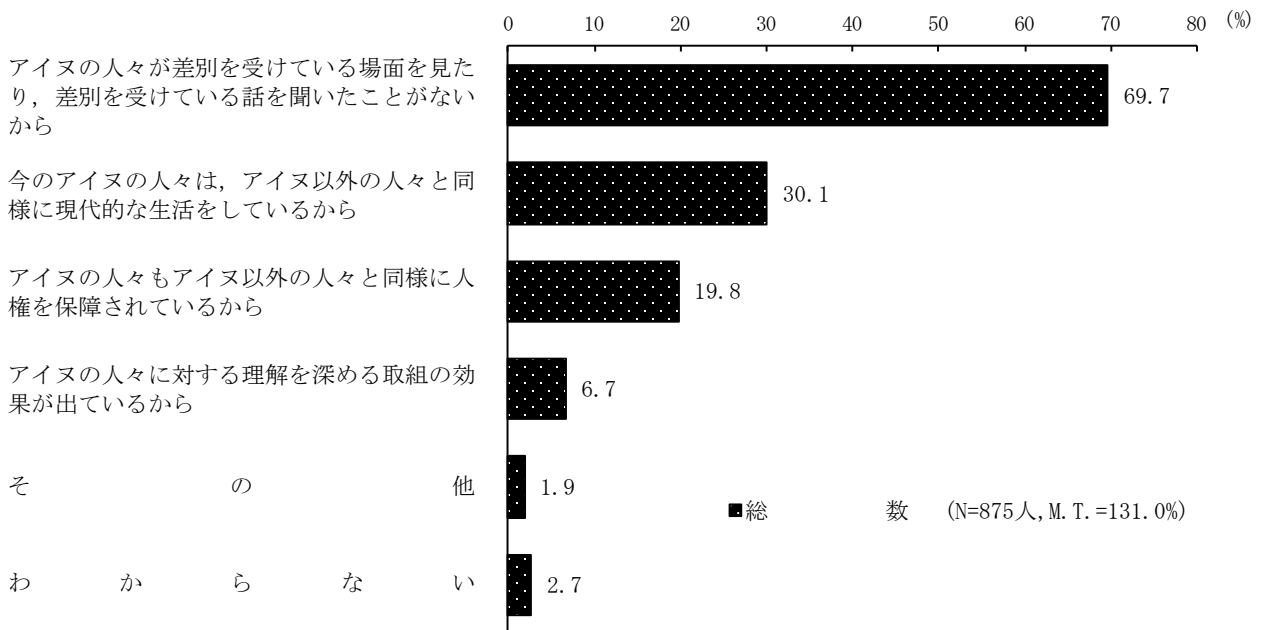
更問4 (問2で「ないと思う」と答えた方(875人)に)
あなたは、なぜ差別や偏見がないと回答しましたか。
この中からいくつでもあげてください。

(複数回答, 上位2項目)

平成28年1月

- ・アイヌの人々が差別を受けている場面を見たり、差別を受けている話を聞いたことがないから 69.7%
- ・今のアイヌの人々は、アイヌ以外の人々と同様に現代的な生活をしているから 30.1%

〔アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見
が「ないと思う」と答えた者に、複数回答〕



3 国民理解の促進について

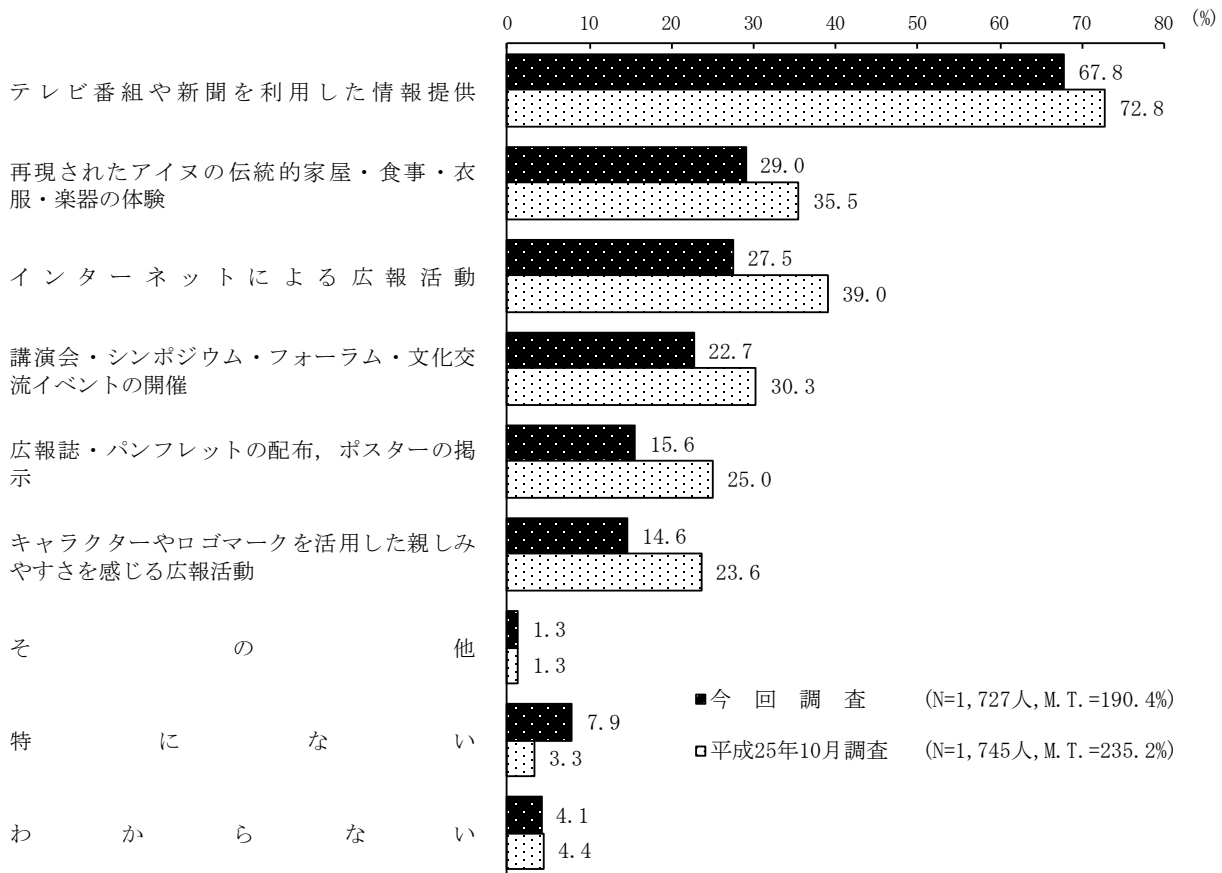
(1) 国民理解の促進に向けて効果的な取組方法

問3 あなたは、広く国民が、アイヌに関して、関心を深めるためには、どのような方法による取組が効果的だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。

(複数回答，上位4項目)

	平成25年10月	平成28年1月
・テレビ番組や新聞を利用した情報提供	72.8%	→ 67.8% (減)
・再現されたアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験	35.5%	→ 29.0% (減)
・インターネットによる広報活動	39.0%	→ 27.5% (減)
・講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催	30.3%	→ 22.7% (減)

(複数回答)



国民理解の促進に向けて効果的な取組方法（時系列）

（複数回答）

	該 当 者 数	テレビ番組や新聞を利用した情報提供	再現されたアイヌの伝統的 家屋・食事・ 衣服・楽器の体験	インターネットによる広報活動	講演会・シンポジウム・フォーラム・文化 交流イベントの開催	広報誌・パンフレットの配布、ポスター の掲示	キャラクターやロゴマークを活用した親 しみやすさを感じる広報活動	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
今回調査	1,727	67.8	29.0	27.5	22.7	15.6	14.6	1.3	7.9	4.1	190.4
平成25年10月調査	1,745	72.8	35.5	39.0	30.3	25.0	23.6	1.3	3.3	4.4	235.2

国民のアイヌに対する理解度に関する世論調査

平成 28 年 1 月

調査時期：平成 28 年 1 月 14 日から平成 28 年 1 月 24 日
調査対象：全国 20 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人
有効回収数(率)：1,727 人 (57.6%)

話は変わりますが、次に時事問題として、「国民のアイヌに対する理解度」に関してお聞きします。

(【資料 1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料 1】 アイヌについて

- ・アイヌの人々は、日本列島北部周辺、とりわけ北海道に先住し、かつては、狩猟・漁労・採集や交易を行い、独自の言語や文化を形成していましたが、北海道開拓時代に日本語教育や猟の制限などにより、アイヌの文化は深刻な打撃を受けました。
- ・現代では、衣食住などの日常生活において、他の日本人と変わらない様式で生活しています。
- ・伝統的な文化には、音楽、工芸、儀礼などがあり、古式舞踊はユネスコの世界無形文化遺産に登録されています。また、独自の言語であるアイヌ語はユネスコの「消滅危機言語」に指定されています。
- ・最近では、様々な場面でアイヌ文化の振興と普及啓発に向けた取組が行われています。

1 アイヌの人々やアイヌ文化と接した機会の有無

Q1 あなたは、アイヌの人々やアイヌ文化に接したことはありますか、それともありませんか。

(注：ご自身がアイヌであると言われた場合には、「ある」に○をする)

(24.7)	(74.1)	(1.3)
あ る	な い	わ かり ない

2 アイヌの人々に対する差別や偏見について

Q2 あなたは、アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見があると思いますか、それともないと思いますか。

(17.9)	(50.7)	(31.4)
あ る と 思 う	な い と 思 う	わ かり ない
↓	→ (SQ bへ)	→ (Q3へ)

(SQ a 1～SQ a 3は、Q2で「あ る と 思 う」と答えた方に)

SQ a 1【回答票 1】あなたは、なぜ差別や偏見があると回答しましたか。

この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=309)

- (3.9) (ア) 友人・知人など身近な人が差別を受けている → (SSQへ)
- (47.2) (イ) 報道などを通じてアイヌの人々が差別を受けているという話を聞いたことがある
- (21.0) (ウ) 昔、学校の授業でアイヌの人々が差別を受けていると聞いて、今もそのイメージがある
- (3.9) (エ) 自分の子どもが学校の授業でアイヌの人々が差別を受けていると聞いたことがある
- (24.6) (オ) 経済格差や教育格差があるイメージがある
- (39.8) (カ) 漠然と差別や偏見があるイメージがある
- (2.6) その他 ()

(M.T.=143.0)

(SQ a 2へ)

(SQ a 1で「(ア) 友人・知人など身近な人が差別を受けている」と答えた方に)

SSQ [回答票2] 友人・知人など身近な人が受けたのは、どのような場面における、どのような差別でしたか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=12)

- (8.3) (ア) 職場で、アイヌであることを理由に不愉快な思いをさせられた
- (16.7) (イ) 学校で、アイヌであることを理由に不愉快な思いをさせられた
- (16.7) (ウ) 結婚や交際の中で、相手の親族にアイヌであることを理由に反対された
- (16.7) (エ) 近所、自治会等で、アイヌであることを理由に疎外された
- (50.0) (オ) 本人に対して直接的ではないが、本人がアイヌであることを知らない周囲の人がアイヌに対する差別的な発言をしているのを聞いた
- (-) その他 () (M.T.=108.3)



(Q2で「あると思う」と答えた方に)

SQ a 2 [回答票3] 差別や偏見の原因・背景は何だと思いますか。
この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=309)

- (65.0) (ア) アイヌの歴史に関する理解の不十分さ
- (64.1) (イ) アイヌ文化に対する理解の不十分さ
- (42.1) (ウ) 行政や学校教育におけるアイヌの人々の理解を深める取組が不十分
- (17.5) (エ) 経済的格差
- (15.9) (オ) 教育水準の格差
- (13.3) (カ) 雇用の不安定
- (1.0) その他 ()
- (3.2) わからない (M.T.=222.0)



SQ a 3 [回答票4] 差別や偏見を無くすために必要なことは何だと思いますか。
この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (53.4) (ア) アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動
- (72.5) (イ) アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育
- (19.4) (ウ) アイヌの人々への職業訓練の充実や雇用の確保
- (28.2) (エ) アイヌの人々への教育の充実・支援
- (20.4) (オ) アイヌの人々への差別に対応する専門の相談機関・施設の充実
- (1.0) その他 ()
- (2.9) わからない (M.T.=197.7)

(Q2で「ないと思う」と答えた方に)

SQ b [回答票5] あなたは、なぜ差別や偏見がないと回答しましたか。
この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=875)

- (69.7) (ア) アイヌの人々が差別を受けている場面を見たり、差別を受けている話を聞いたことがないから
- (30.1) (イ) 今のアイヌの人々は、アイヌ以外の人々と同様に現代的な生活をしているから
- (19.8) (ウ) アイヌの人々もアイヌ以外の人々と同様に人権を保障されているから
- (6.7) (エ) アイヌの人々に対する理解を深める取組の効果が出ているから
- (1.9) その他 ()
- (2.7) わからない (M.T.=131.0)

3 国民理解の促進について

(全員の方に)

Q3〔回答票6〕あなたは、広く国民が、アイヌに関して、関心を深めるためには、どのような方法による取組が効果的だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (67.8) (ア) テレビ番組や新聞を利用した情報提供
- (15.6) (イ) 広報誌・パンフレットの配布, ポスターの掲示
- (27.5) (ウ) インターネットによる広報活動
- (22.7) (エ) 講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催
- (29.0) (オ) 再現されたアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験
- (14.6) (カ) キャラクターやロゴマークを活用した親しみやすさを感じる広報活動
- (1.3) その他 ()
- (7.9) 特にない
- (4.1) わからない (M.T.=190.4)